

ASANET

No.159
2020
8.20

あさどっとねっと

広島県中小企業家同友会

広島安佐支部報

発行：広島県中小企業家同友会 広島安佐支部 広報委員会 編集責任者：広島安佐支部広報委員長 新谷慎一
広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 8F TEL：082-241-6006 FAX：082-241-6007

コロナに負けないぞ 「地域の困りごと解決&お役立ちのために」

(株)なんじゃろー 代表取締役 植田 修司 氏 (安佐北地区会)



弊社は、安佐南区上安で鉄板焼き お好み焼きのお店「なんじゃろー」、安佐北区落合で串焼きのお店「なんじゃろー にこめ」の2店舗を運営しております。

新型コロナウイルスの影響により、3月末辺りから売上が減少し始めました。4月半ばから5月半ばまでの自粛要請時には、時短営業と休業という形式で各店舗が対応しました。

『鉄板焼き お好み焼き』の店舗は元々、テイクアウトとデリバリーも行っていた為、売上減は30%でとどまりましたが、『串焼き』の店舗はテイクアウトのみの対応となった為、売上減は60%になった形です。6月、7月は昨年対比90~100%に戻り始め

ましたが、7月最終週あたりから第2波の懸念からか売上が減少気味な現状です。

ももとの郊外店という特色を活かし、地域密着を柱に、取り組みを行っております。コロナ禍は学校が休校ということもあり、平日のランチ時のテイクアウトのお好み焼きを周りの企業または個人の方々の支援をいただき、300円で提供させていただきました。

お客様も、関わる皆様方も、地域の方も、そしてお店も、みなさんが良くなることのお手伝いをさせていただけるお店作りを心がけています。これからも、地域のお客様の困りごと、地域のみなさまのお役立ちの為に、お店として何ができるのかを考えて精進してまいります。



【令和2年度 広島安佐支部スローガン】

広島安佐支部 8月1日現在会員数 142名

EN (えん) to AI (あい) ~人が繋がる経営をめざして~

広島安佐支部 新会員オリエンテーション

私と同友会～何を持ち帰り、どう実践したか～

報告者：㈱アイ・エム・シー ユナイテッド 代表取締役 今津 正彦氏（支部長）

去る7月27日（月）、同友会事務局（& Zoom）にて開催されました。参加者は、新会員5名、役員等14名、他支部より2名、オブザーバー1名、合計22名でした。

同友会紹介ビデオ鑑賞の後、先輩会員によるミニ体験報告がありました。

㈱アイ・エム・シー ユナイテッドは1985年8月、先代である今津氏の父君が木型製作を個人で創業されました。当時、中古車販売の会社を辞めて、父君の会社を手伝うことになりました。そして、2000



年9月に、父君からバトンタッチを受けて社長に就任されました。同友会への入会は2010年12月。当時、M&Aで会社を合併されますが、合併相手から雇用継続した社員さん16名中14名が退職するという大変な時期だったとのこと。

入会してすぐに経営指針成文化セミナーに参加。経営指針の成文化をされました。そして、同時に力点を置いたのが、新卒の採用でした。同友会の共同求人活動にも参加され、1年目は1名、2年目に2名、3年目には4名を採用。以後、現在までコンスタントに新卒採用を続けています。このことは会社を大きな転機となったそうです。

そして、この春、新社屋を移転オープンされました。「会社は安佐町飯室にあります。非常時には地域の避難所として開放されることになっています。わが社のスタートは飯室。十年ビジョンを描いた時、この地でやっていくという覚悟を決めてから、いろいろなことが私の中でリンクしていきました。地域の雇用を担う。社員の働く環境を快適にする。社員に安心感を与える。地域の活性化の一翼を担う。地域の防災拠点となる。必要とされる企業になる。コロナ禍の世界経済の中でも、企業の使命は存続し続けることではないでしょうか」というお話が印象的でした。

最後に、アンケートより、参加者の皆さんの感想&学びをご紹介します。

「様々な経営者の話を聞きながら、固定概念を変えてみたい」「同友会の活動、自社の変化が良く分かった」「いろんな意見が聞けて良かった。早くグループ討論がやりたい」「聞く話すべてが、経営者の実体験なので、リアルだし勉強になる」「社員と一緒に経営指針を作り、一丸となった経営をめざしたい。そんな問題意識を今日は持って帰るつもり」「①経営の勉強 ②仲間づくり ③良い経営者になれる ④労使は対等 これを学んで行きたい。

（記 広報委員会）